



刻歩極頂

長井市立西根小学校
学校だより第18号
令和6年1月29日

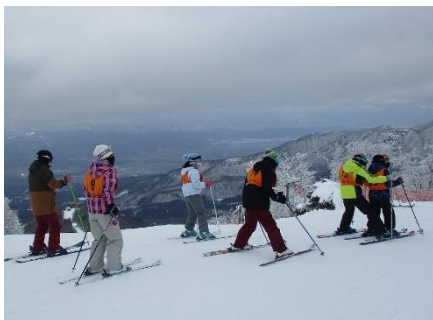
「刻歩極頂」(こくほきょくちょう) 一歩一歩の歩みを大切に 頂上にとどり着く
長井市初代名誉市民 孫田 秀春 博士 揮毫

スキー授業へのご協力に感謝

保護者の皆様、スキー授業への準備とご協力、誠にありがとうございました。

1月19日(金)は、6年生の蔵王スキー教室でした。積雪の少なさが心配されましたが、大森グレンデレストハウス前で開講式を行った後、天候にも恵まれ、たいへん充実したスキー教室になりました。6年生は、各班の指導者(保護者)の指示をよく聞き、しっかりした行動や挨拶が見られました。心に残る蔵王スキー教室になったと思います。卒業までの一日一日を大切に過ごしてほしいと願っています。

道照寺平スキー場でのスキー授業は、どの学年も実施することができませんでした。講師やスキー運搬等でご協力いただく予定だった保護者の皆様には、ご準備いただいたにもかかわらず誠に申し訳ございません。先週末の積雪で、グラウンドでスキー授業、あるいはクロスカントリースキーの授業を行ったところです。中でも3年生は、初めてのクロカンスキーとは思えないほどの上達ぶりを見せていました。さすが西根の子供たち。グラウンドの雪に消えないでほしいと願ってしまう、そんな今年の冬です。



充実した6年生の蔵王スキー教室 低学年はグラウンドでスキー授業 3年生はグラウンドで初クロカン

2月の予定

1	木		11	日	建国記念の日	21	水	標準学力検査
2	金	委員会活動 PTA執行部会	12	月	振替休日	22	木	標準学力検査 委員会活動(最終)
3	土		13	火		23	金	天皇誕生日
4	日		14	水		24	土	
5	月	ALTalk Day	15	木		25	日	
6	火		16	金		26	月	
7	水		17	土		27	火	学校運営協議会
8	木	学校体験教室	18	日	(市民スキー大会)	28	水	けん玉認定会
9	金	参観日 学年部会総会 PTA拡大理事会	19	月		29	木	
10	土		20	火				

【ご紹介】

協働活動サポーター（非常勤）として、1月12日（金）より 先生が着任されました。以前も西根小学校にお勤めいただいた先生です。2月末まで主にTTとして学習のまとめに向けてご指導いただきます。どうぞよろしくお願いたします。

（令和5年度「ボランティア体験作文」小学生の部 入選）

ゴミ拾いボランティアをして

6年

ぼくは、夏休みに入ったらボランティアをしようと考えていました。何をしようかと考えていた時、地域のしし舞いがあるので、次の日にゴミ拾いをしてみたいかどうかと思いついたのです。たぶん、ポイ捨てが多いのではないかと思います、やってみることにしました。

もう一つ、ゴミ拾いをしようと思った理由があります。それは、ふだんの生活で自分たちが出しているゴミは、ゴミ収集車で回収してもらっています。だから、集めてもらってあたり前になっていることや昔の人々はゴミを自分たちで集めていたことなどを聞き、自分でゴミ拾いをやってみようと考えたからです。少しでも自分の地域のゴミがなくなるといいなと思い、ぜひやってみようと思えました。

ボランティア当日。ぼくが集めたゴミは、おやつ箱や袋6個、カン2本、ペットボトル2本、その他11個で、合計21個。これ以外にも小さいゴミが多数ありました。お祭りがあったとはいえ、これらのゴミは、とても多いと感じました。一つ一つ拾っていきながら、すごく残念な気持ちが増えていきました。こんなにもポイ捨てがあるなんてがっかりしました。

インターネットでポイ捨てについて調べてみました。捨てたゴミが雨によって川に流され、海にたどりつき、結果、海が汚れたり、魚にもえいきょうが出て、漁獲量にも問題が生じてくることがわかりました。

このことから、ふだん、なんの気もなく捨てているゴミは、人々の生活だけでなく、私たちの環境にも関わってくることを実感しました。だからこそ、ポイ捨てはしない方がよいということが大事だとわかりました。

次に、ルールを守ることも、大切だということです。日本では法律というルールがあります。ルールは守るべきです。ほんのちょっとした気持ちでゴミを捨ててしまうことも、河川法施行令というルールに反すること、罪になることもあるとわかりました。

ぼくたちの学校生活にも、いろいろなルールや約束があります。それは、みんなが気持ちよく学校生活を送るために必要なことだと思います。それと同じように、ポイ捨てをしないことは、自分たちの生活を心地良くするためのルールだと気づきました。

さらに、ポイ捨てその行為そのものを減らしていくことが必要だと考えました。減らなければ、日本の海は汚れ、海水浴やつりもできなくなるのは残念です。ゴミが増えないようにするために何ができるのかを考えてみました。

1つ目は、捨てる人がいたら注意することです。まず、見かけたら声をかけて止めるように、見て見ぬふりをしないことです。

2つ目は、自分自身でも、意識することです。自分が人に注意して、自分がポイ捨てしてしまったら何の意味もありません。だから、注意をする前にまずは自分がやらないようにすることです。

このゴミ拾いのボランティアを経験して、ルールを守る大切さを学びました。ボランティアとは、だれかのために積極的に仕事をする事だと思っています。

ゴミ拾いが終わって家に帰ると家族から、
「ありがとう。」

と言われました。その時、だれかのために役に立った時のよろこびを感じました。

積極的に仕事を見つけ、だれかの役に立つ仕事をする事は、日常生活でも、続けていきたいです。

これをきっかけに地域をポイ捨てがない美しい地域にしていきたいです。